



平成27年11月20日  
四国地方整備局

## 四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、平成27年度第2回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成27年4月から平成27年6月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

### 記

開催日 平成27年10月6日(火)  
場所 高松サポート合同庁舎 13階会議室

### 問い合わせ先

高松市サポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 山下 安一 (内線2114)

契約管理官 多田 羅昌博 (内線2222)

技術開発調整官 嘉田 功 (内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成27年10月6日(火) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員(部会委員5名)	部長 山中 英生(徳島大学大学院教授)					敬称略
	委員 石川 千晶(公認会計士)					委員は50音順
	委員 五艘 隆志(高知工科大学准教授)					
	委員 柴田 潤子(香川大学大学院教授)					
	委員 白井 一郎(弁護士)					
審議対象期間	平成27年4月1日～平成27年6月30日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事以外)	平成27年度 高松管内安全施設工事	富士道路施設 (株)	41,580	3	99.74
	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事以外)	平成26—27年度 下敷水地区付替県道(その2)工 事	石岡建設(株)	97,200	3	99.50
	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事以外)	平成27年度 高知・佐川管内道路照明維持工 事	(株)栄和電機	34,992	1	100.00
建設コン サルタン ト業務等	簡易公募型 競争	平成27年度 物部川・仁淀川底生動物調査業 務	(株)建設環境 研究所	7,527	7	73.45
	簡易公募型 競争	平成27年度 徳島管内道路水文(四国横断自 動車道)調査業務	ニタコンサルタ ント(株)	14,688	5	97.07
役 務 及び物品	一般競争	平成27年度 ヘリコプター搭載型衛星通信設備 据付調整	三菱電機(株)	277,560	1	99.66
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

1. 抽出案件の審議概要

(1)一般競争入札(政府調達協定以外)	
意見・質問	回 答
<p><b>平成27年度 高松管内安全施設工事</b></p> <p>参加業者は、地元業者か。</p> <p>落札比率が高い理由は。</p> <p>加算点において5点の差がついた理由は。</p>	<p>3者は地元業者で、1者は地元外の業者である。</p> <p>橋梁用高欄以外、歩掛、材料単価とも公表されている。橋梁用高欄については、特別調査で価格を決定しているが、各者の単価は1割ほど高くなっていることから、直接工事費は高くなっている。間接費は若干安く設定されていたが、総価として結果的に予定価格に近い入札価格になったと思われる。</p> <p>1者については、過去2年間の受注実績が無く、企業の工事成績に係る評価点が加点されないため、差がついた。</p>
<p><b>平成26-27年度 下敷水地区付替県道(その2)工事</b></p> <p>1回目の入札で3者とも予定価格を超えていたがその要因は。</p> <p>1回目の開札と2回目の入札は、どの程度間隔を空けるのか。</p>	<p>軽量盛土工の材料単価については、特別調査を実施し計上しているが、その単価が官積算より高い状況であった。</p> <p>1回目の入札が不調となった場合には、再度入札に移行する旨入札説明書に記載されており、各社とも再入札に対応する体制は整えていると考えている。また、本案件については、再度入札の時間については発注者から60分以内に通知し、1時間30分後に設定した。</p>
<p><b>平成27年度 高知・佐川管内道路照明維持工事</b></p> <p>一般競争入札で1者入札であった。管内で他の業者はいないのか。</p> <p>落札率100%の背景は。</p> <p>毎年度同じ業者が落札しているのか。</p> <p>南国・奈半利管内道路照明維持工事についても1者入札となっており、今回の業者が落札している。発注方法は、妥当か。</p>	<p>管内で参加要件を満たす業者は、17者ほどあった。</p> <p>公表している積算基準及び単価を使用して積算しているため、官積算との間に大きな差が生じなかったと考えられる。</p> <p>平成26・27年度は今回の落札業者、平成25年度は他の業者が落札している。</p> <p>業者の受注機会や管理延長に配慮し、2件の発注としている。</p>

(2)簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回 答
<p><b>平成27年度 物部川・仁淀川底生動物調査業務</b></p> <p>技術提案の評価項目に履行確実性を加えて技術評価を行う業務であるが、どのように履行確実性を評価したのか。</p> <p>地元業者が有利という傾向はあるか。</p> <p>調査の頻度はどれくらいか。</p> <p><b>平成27年度 徳島管内道路水文(四国横断自動車道)調査業務</b></p> <p>手続き中の見積と入札価格が大きく違った業者はいたか。</p>	<p>調査基準価格を超えており、内容的にも難しいものではないので、適正な利潤を確保していると考えている。</p> <p>地元有利という傾向はない。</p> <p>河川水辺の国勢調査としては、毎年実施している。底生動物調査は、5年に1回実施している。</p> <p>見積は全体の80%程度であり、単純に比較は出来ないが、不自然な乖離は無かった。</p>
(3)一般競争入札(役務・物品)	
意見・質問	回 答
<p><b>平成27年度 ヘリコプター搭載型衛星通信設備据付調整</b></p> <p>一般競争にした理由は。</p> <p>全国まとめてやった方が良いのではないか。</p> <p>物を納入した業者が、艀装作業についても有利になるのか。</p> <p>昨年度発注した近畿地整、九州地整も同じ業者か。他の業者が行った例はあるか。</p> <p>全国で8機の契約を、年度を分けて行う理由は。</p> <p>積算基準を持っているか。</p>	<p>航空機に装備品を取付ける、艀装作業であるため一般競争とした。</p> <p>物の購入は全国まとめて行い安くしている。</p> <p>物の性能を知っている点では有利だが、艀装作業自体は、他の業者でも行える。</p> <p>同じ業者である。他省庁では他の業者が行っているものもある。</p> <p>艀装作業に半年ほどかかり、一斉に作業を行うと災害時等ヘリが使えない時期が発生するため年度を分けている。</p> <p>本件については、見積徴取により積算を行っている。妥当性については、他省庁等の実績により確認している。</p>

## 2. 談合情報等の対応状況について

意見・質問	回 答
特になし	

## 3. 再度入札における一位不動状況（「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）、低入札の発生状況について

意見・質問	回 答
特になし	

## 4. 指名停止状況について

意見・質問	回 答
特になし	

## 5. 全体について及びまとめ

6件の審議を終え、手続き的な問題はなかったが、予定価格付近に張り付いている案件が何件も見られた。価格については、調査基準価格から予定価格の間で競争することから、どちらかに価格が張り付くこととなった場合に、競争幅が減ってしまう現象が見られることから、予定価格の精度を上げる努力を引き続き行って頂きたい。特に、環境調査や水文観測等の毎年又は隔年で繰り返し行われる業務については、経年的に応札状況等がどういう傾向にあるのか引き続き分析していただきたい。また、工事及び業務全般についてですが、落札結果が通常とは異なる結果の場合は、どのような原因があったのか情報収集していただき、原因を追求する努力を引き続き行って頂きたい。